

◆管内市町村の概要 全20市町村（1市13町6村）

管内総面積 4,305.87km²
管内総人口 194,246人



- 面積：243.83km²
- 人口：109,665人
- 市町村名の由来
アイヌ語「オタ・オル・ナイ」
(砂の中の川)から転か

●概況
北海道開拓の表玄関として発展してきた商工港湾都市。海と山に囲まれた美しい自然と、港や運河、数多くの歴史的建造物が残る街並みが魅力の観光都市であり、国内外から多くの観光客が訪れている。



- 面積：437.18km²
- 人口：1,349人
- 市町村名の由来
アイヌ語「シュマコマキ」
(背後に岩がある)から転か

●概況
自然公園を擁し、日本の滝百選の賀老の滝など雄大な自然環境下にあり、温泉活用など観光産業、漁業振興に力を入れている。



- 面積：95.25km²
- 人口：2,756人
- 市町村名の由来
アイヌ語「シュブキペツ」
(川の名)から転か

●概況
風光明媚な海岸線が美しい漁業のまち。「寿かき」ブランドが知られている。地方自治体として全国で初めて風力発電を設置。生焼きしらす佃煮などの名産や、風のバジル栽培など新たな食への挑戦により、食と観光のまちづくりを推進している。



- 面積：345.65km²
- 人口：2,670人
- 市町村名の由来
アイヌ語「クル・マツ・ナイ」
(和人の女が多くいる沢)から転か

●概況
ブナ北限の自生林を有する管内一の酪農のまち。町の自然に気軽に親しめる環境づくりをすすめ、都市と農村の交流を目指している。



- 面積：449.78km²
- 人口：4,473人
- 市町村名の由来
アイヌ語「ラン・コウシ」
(桂の木が多いところ)から転か

●概況
清流日本一の尻別川が流れ、良質米「らんこし米」の生産地として有名。湯本、五色、湯の里、昆布川、黄金、新見の7つの温泉郷に恵まれた美しい景観を誇る米と温泉と花のまち。



- 面積：197.13km²
- 人口：4,657人
- 市町村名の由来
アイヌ語「マッカリベツ・フト」(峠のきり立った川)から転じて狩太町であったが、ニセコが観光スキー場として全国ブランドになったため「ニセコ」に改称(昭和39年10月1日)。

●概況
良質なパウダースノーが舞い降りるニセコ町には多くの観光客が訪れる。また、夏季には涼冷な気候を活かした農業が盛ん。環境モデル都市として資源・エネルギー・経済の循環を目指している。



- 面積：114.25km²
- 人口：1,928人
- 市町村名の由来
アイヌ語「マツカリベツ」
(山の後をとり巻いている川)から転か

●概況
羊蹄山の南にあり豊かな伏流水で育まれたじゃがいも、人参、ハーブ豚等が有名で、中でも食用ゆり根の生産日本一を誇る。村出身の細川たかしさんが観光大使を務め、食による観光振興に取り組んでいる。



- 面積：119.84km²
- 人口：1,772人
- 市町村名の由来
アイヌ語「ル・ツツ」、あるいは「ルー・ツツ」(道が山のふもとにある)から転か

●概況
周囲を山岳に囲まれた高原大地状の農村。通年型観光リゾートのルスツリゾートが有名。道の駅「230ルスツ」は農産物直売店があり、地域間交流施設として活気を呈している。



- 面積：189.41km²
- 人口：2,010人
- 市町村名の由来
アイヌ語「キモーベツ」
(奥の川、山間の川)から転か

●概況
後志の玄関口である中山峠は、道の駅の「あげいも」が有名で多くの観光客が訪れる。特産品はアスパラガス。羊蹄山と尻別岳が並んで見えるスポットが「双子羊蹄」と呼ばれ人気を集めている。



- 面積：231.49km²
- 人口：2,797人
- 市町村名の由来
本町開拓の先駆者である京極高徳氏の姓

●概況
羊蹄山の伏流水が湧き出る「水」のまち。湧水が「名水百選」の選定を機にふきだし公園が整備された。「名水の郷」として街づくりが進められている。



- 面積：261.34km²
- 人口：14,101人
- 市町村名の由来
アイヌ語「クッシャニ」
(くだのようなどころを流れる川)から転か

●概況
日本有数の豪雪地帯。ニセコ山系に展開する広大な規模のスキー場は、世界から注目されている。農業が盛んで、気温の寒暖差から生まれたジャガイモは、本州で高い評価を得ている。



ShiriBeshi
「世界の後志」を目指して

-後志総合振興局とのコラボレーションロゴを作成-



- 面積：304.92km²
- 人口：5,640人
- 市町村名の由来
共に和やかに和合し、発展しようという合併村の願いを払わす(前田村・小沢村・発足村の合併)



- 面積：70.6km²
- 人口：11,584人
- 市町村名の由来
アイヌ語「イワウナイ」
(硫黄の流れる沢)から転か



- 面積：82.27km²
- 人口：1,520人
- 市町村名の由来
アイヌ語「ヘモイトマリ」
(マスの寄せる入り江)から転か



- 面積：147.79km²
- 人口：795人
- 市町村名の由来
アイヌ語「カムイナイ」
(美しき神秘な沢)から転か



- 面積：238.13km²
- 人口：1,874人
- 市町村名の由来
アイヌ語「シャック・コタン」
又は「サヤコタン」(夏の村、夏場所)から転か



- 面積：188.36km²
- 人口：2,745人
- 市町村名の由来
アイヌ語「フィー・ピラ」
(赤い崖)から転か



- 面積：167.96km²
- 人口：3,128人
- 市町村名の由来
本町開拓の功労者、仁木竹吉の姓



- 面積：140.59km²
- 人口：17,741人
- 市町村名の由来
アイヌ語「イヨティーン」
(ヘビのように曲がりくねった大きな川のある所)から転か



- 面積：280.09km²
- 人口：1,041人
- 市町村名の由来
アイヌ語「フレベツ」
(赤い川)の意味したものから

注) 喜茂別町及び京極町の面積は、境界の一部が未定のため参考値であり、合計面積は420.91km²。令和3年10月1日現在全国都道府県市町村別面積調(国土地理院)。
人口は、令和4年1月末現在住基ネットにおける人口【参考値】(北海道総合政策局)。